SSC-7371S / SSC-7371P
SSC-7372S / SSC-7372P 取扱説明書

期間登録ができる

年間プログラムタイマー

★リセット
電源が入った状態で、「登録キー」を押しながら「Rキー」をペン先などで１秒間押します。次に「登録キー」を離してリセットを行ってから、操作方法に従って設定してください。

写真は　ＳＳＣ－７３７２Ｓ

写真は　ＳＳＣ－７３７２Ｐ

SUNAO スナオ電気株式会社

目　　次

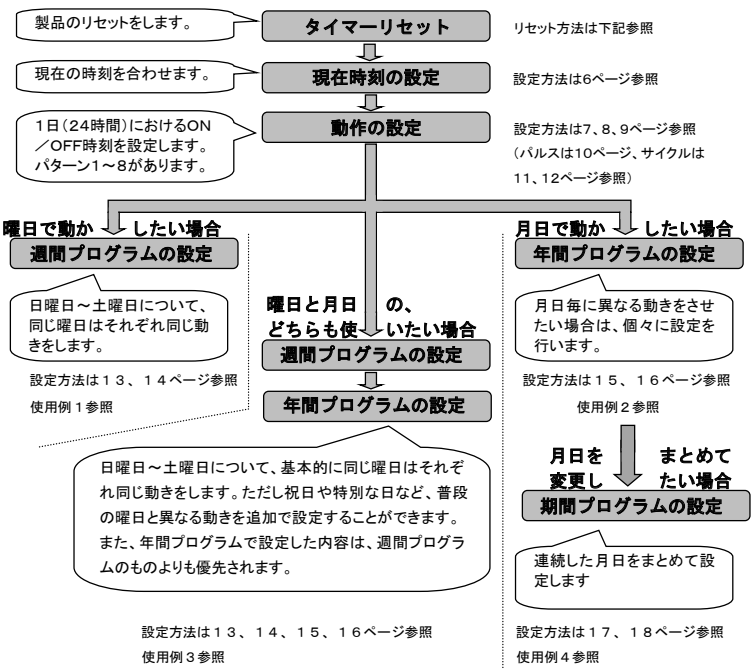
１．概要の説明 ・・・

１．概要の説明

- 本取扱説明書は、出力が１系統（１チャンネル）であるＳＳＣ－７３７１と、出力が２系統（２チャンネル）であるＳＳＣ－７３７２について適用します。

- 年間プログラムを使用する場合は、毎年設定の見直しを行ってください。年間プログラムの設定は月日により設定するため、翌年の同日も同じ動きをします。

- 本製品はまず１日（２４時間）の中でＯＮ／ＯＦＦの時刻を「動作パターン」として設定します。その「動作パターン」を使用して、１週間の動きを決める「週間プログラム」、１年間の動きを決める「年間プログラム」の設定を行うことで使用します。



<タイマーリセット方法>

★電源が入った状態で、登録キーを押しながらＲキーをペン先などで１秒間押します。次に登録キーを離します。

使用例１．**曜日のみで動かしたい場合**
月曜日～金曜日は８時ＯＮ、１７時ＯＦＦ、
土曜日は８時ＯＮ、１２時ＯＦＦ、日曜日は使用しない場合

「動作」でパターン１（１～８のどれでも可）に８時ＯＮ、１７時ＯＦＦを設定します。また、今設定した以外のパターンに（例えばパターン２に）、８時ＯＮ、１２時ＯＦＦを設定します。そして次に「週間プログラム」で、月曜日～金曜日は先程「動作」で設定したパターン１に、土曜日はパターン２に、日曜日はパターン０に設定します。

使用例２．**月日のみで動かしたい場合**
５月５日は９時ＯＮ、１５時ＯＦＦ、
１２月２４日は１７時ＯＮ、２２時ＯＦＦしたい場合

「動作」でパターン７（１～８のどれでも可）に９時ＯＮ、１５時ＯＦＦを設定します。同じく「動作」でパターン８（１～８のどれでも可）に１７時ＯＮ、２２時ＯＦＦを設定します。そして次に「年間プログラム」で５月５日をパターン７に、１２月２４日をパターン８に設定します。

使用例３．**曜日と月日の両方で動かしたい場合**
月曜日～金曜日は１０時ＯＮ、２０時ＯＦＦ、
土曜日～日曜日は使用しない、
ただし特定の祝日（５月５日）は曜日に関係なく使用したくない場合

「動作」でパターン５（１～８のどれでも可）に１０時ＯＮ、２０時ＯＦＦを設定します。そして次に「週間プログラム」で、月曜日～金曜日は先程「動作」で設定したパターン５に、土曜日～日曜日はパターン０に設定します。更に「年間プログラム」で５月５日をパターン０に設定します。（「年間プログラム」で設定された内容は、「週間プログラム」で設定されたものよりも優先して動きます。）

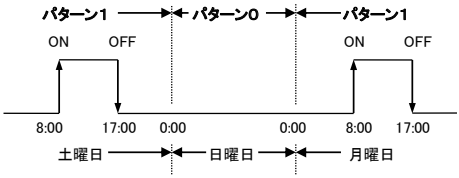
使用例４．**月日をまとめて設定したい場合**
７月１日から８月３１日まで、８時ＯＮ、１７時ＯＦＦ
をまとめて設定する場合

「動作」でパターン３（１～８のどれでも可）に８時ＯＮ、１７時ＯＦＦを設定します。次に「期間プログラム」で開始月日７月１日から終了月日８月３１日をパターン３に設定します。

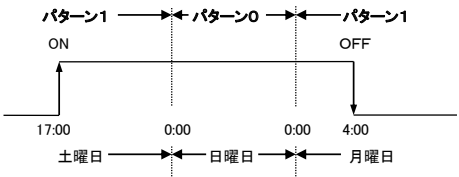
パターン０　：１日中非動作用パターン
（ユーザーでの設定変更および内容の表示はできません）
動作が不要な月日（「年間プログラム」設定時）または曜日（「週間プログラム」設定時）にはパターン０を設定してください。パターン０は前日の最後のＯＮ／ＯＦＦ状態を１日中保持します。つまり前日がＯＮの状態で終了した場合は１日中ＯＮ状態となり、逆に前日がＯＦＦの状態で終了した場合は１日中ＯＦＦ状態となります。

＜日曜日をパターン０にした場合の動作の一例＞

ａ）前日の最後がＯＦＦの場合



ｂ）前日の最後がＯＮの場合



パターン１～８：通常の動作用パターンが設定できます。
（それぞれのパターンについて、最大３０セットのＯＮ／ＯＦＦ動作、または６０パルスの設定が可能）

パターン９　：「サイクル」専用のパターンです。（１セットのみ設定可能）

- 本製品で表示される時計は、全て２４時間制表示になります（午後１時は１３時と表示されます）。

- 各パターンに設定できる時間の設定数には上限があります。パターン設定の際、最大設定回数を超えて設定をしようとすると、全表示が点滅しそれ以上設定できません。

- 本製品の「パルス」で出力するパルス幅は、２秒固定となっています。パルス幅の変更はできません。

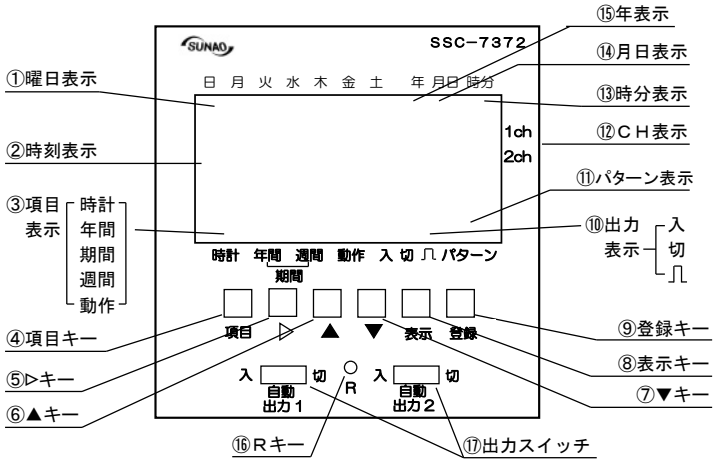
- 「動作」には、通常のＯＮ／ＯＦＦ設定の他に、１日の設定された時間の範囲内でＯＮ／ＯＦＦの出力を繰り返し出来る「サイクル」という機能があります。（スタート時間、ストップ時間、ＯＮ時間、ＯＦＦ時間を１セットだけ設定出来ます。）

使用例１．月曜日と火曜日の８時～１７時の間に、
１５分間ＯＮ、４５分間ＯＦＦを繰り返し出力したい場合

「動作」でパターン９（必須）に８時スタート、１７時ストップ、１５分ＯＮ、４５分ＯＦＦを設定します。そして次に「週間プログラム」で、月曜日と火曜日をパターン９に設定します。（詳細は、「サイクルの設定」の項を参照してください。）

- 本製品を操作中に途中で行き詰った場合は、「項目」キーを何回か押して現在時刻を表示させてから、再度取扱説明書に従って操作をやり直してください。また、何が設定されているか分からなくなった場合には、各項目を選択した後「表示」キーを順次押して、現在何が設定されているのか設定内容の確認をしてください。

2．各部の名称



図はＳＳＣ－７３７２

３．各部の機能

①曜日表示 --------- 現在曜日と曜日設定のとき表示します。
②時刻表示 --------- 年、月日、時分、及び確認プログラム時刻を表示します。
時計は閏年も含めて２０９９年まで更新します。（西暦）
③項目表示 ---┬------ 時計 ----- 時計の設定、修正中に点灯します。
├------ 年間 ----- 年間プログラム設定、確認中に点灯します。
年間プログラムで動いている日は点滅します。
├------ 期間 ----- 年間と週間が同時に点灯することで期間を表します。
期間プログラム設定、消去中に点灯します。
├------ 週間 ----- 週間プログラムの設定、確認中に点灯します。
└------ 動作 ----- 動作の設定、確認中に点灯します。
（４個共消灯または年間が点滅中は時計の時分を表示し、設定等の操作はできません。）
④項目キー --------- 表示内容を時計、年間、期間、週間、動作、消灯の順に選択します。
期間選択時は年間と週間が同時に点灯します。
⑤▷キー ----------- プログラムする内容の移動を行います。
⑥▲キー ----------- プログラムする数値の増加を行います。
⑦▼キー ----------- プログラムする数値の減少を行います。
⑧表示キー --------- 時計、プログラムの表示を行います。
⑨登録キー --------- 時計の設定、プログラムの登録を行います。
⑩出力表示 ---┬------ 入 ----- 入のプログラム設定、表示確認時に点灯します。
├------ 切 ----- 切のプログラム設定、表示確認時に点灯します。
└------ 𝍐 ----- パルスのプログラム設定、及びサイクルのスタート、
ストップ表示確認時に点灯します。
⑪パターン表示 ------ 動作、週間、期間、年間プログラムのとき表示します。
時計を表示中は下記を表示します。
・１チャンネルが動いているパターン番号が点灯します。
・表示キーを押すと、２チャンネルが動いているパターン番号が点滅します（ＳＳＣ－７３７２のみ）。
・表示キーを押すごとに交互に表示します（ＳＳＣ－７３７２のみ）。
⑫ＣＨ表示 --------- チャンネル設定及び、出力ＯＮしているチャンネルが点灯します。
⑬時分表示 --------- 時、分設定のとき表示及び、現在時刻のとき点灯します。
⑭月日表示 --------- 月、日設定のとき点灯します。
⑮年表示 ----------- 年設定のとき点灯します。
⑯Ｒキー ----------- プログラムリセットを行います。
⑰出力スイッチ ┬--- 入 ------- 出力は手動によりＯＮ状態を保ちます。
├--- 自動 ------ 自動運転を行います。
└--- 切 ------- 出力は手動によりＯＦＦ状態を保ちます。
（注）ＳＳＣ－７３７１につきましては、出力２側の出力スイッチはありません。

４．操作方法

４－１ 現在時刻の設定と確認

ａ）設定方法

※曜日は自動認識のため、現在時刻のみ年の登録が必要です。

例　現在時刻が2014年10月25日9時10分の場合

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
■ □ □ □ 時計	３５	項目キーを押して、時計の位置を点灯させます。 （表示は現在の秒数を表しています）
■ □ □ □ 時計	１４	▷キーを押し、▲▼キーで１４を点滅させます。 （西暦の末尾２桁を表しています）
■ □ □ □ 時計	１０．０１	▷キーを押し、▲▼キーで１０を点滅させます。
■ □ □ □ 時計	１０．２５	▷キーを押し、▲▼キーで２５を点滅させます。
■ □ □ □ 時計	０９：００	▷キーを押し、▲▼キーで０９を点滅させます。
■ □ □ □ 時計	０９：１０	▷キーを押し、▲▼キーで１０を点滅させ、登録キーを押します。
□ □ □ □ 時計	０９：１０	現在時刻が表示されます。

◎プログラム設定及び確認中は、既にプログラムしてある通りに出力が制御されます。

ｂ）確認方法

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
■ □ □ □ 時計	３５	項目キーを押して、時計の位置を点灯させます。
■ □ □ □ 時計	０９：１０	表示キーを押すごとに年、月日、時分、年・・・と繰り返し表示させて確認します。
□ □ □ □ 時計	０９：１０	確認が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

◎最後のキー操作から４～５分後、自動的に現在時刻の表示に戻ります。

*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

ｃ）００秒修正の方法

例　現在時刻の秒数が３０～５９秒の場合

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
■ □ □ □ 時計	３５	項目キーを押して、時計の位置を点灯させます。 （表示は現在の秒数を表しています）
□ □ □ □ 時計	０９：１１	登録キーを押すと、分は１分桁上げをして００秒になり、現在時刻の表示に戻ります。

例　現在時刻の秒数が０～２９秒の場合

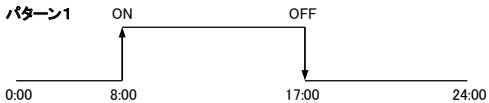
項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
■ □ □ □ 時計	２７	項目キーを押して、時計の位置を点灯させます。 （表示は現在の秒数を表しています）
□ □ □ □ 時計	０９：１０	登録キーを押すと、分はそのままで００秒になり、現在時刻の表示に戻ります。

４－２ 動作の設定と確認

１）動作の設定と確認

ａ）設定方法

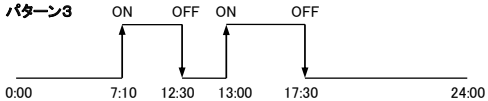
例 パターン1に8時00分（ON）、17時00分（OFF）の1セットを設定する場合



項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ □ ■ 時計　動作	－－：－－ （００：００）	項目キーを押して、動作の位置を点灯させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン １	▲▼キーでパターン１を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：－－ （０８：００）	▷キーを押し、▲▼キーで０８を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：００	▷キーを押し、▲▼キーで００を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	■ 入	▷キーを押し、▲▼キーで入を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：００	登録キーを押します。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン １	パターン１が点滅します。
□ □ □ ■ 時計　動作	１７：００	▷キーを押し、▲▼キーで１７を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１７：００	▷キーを押し、▲▼キーで００を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	■ 切	▷キーを押し、▲▼キーで切を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１７：００	登録キーを押します。
※３１セット目を登録しようとすると全表示が点滅し、それ以上設定できません。		
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

例　パターン3に7時10分（ON）、12時30分（OFF）　13時00分（ON）、17時30分（OFF）のように複数を設定する場合



項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ □ ■ 時計　動作	－－：－－ （００：００）	項目キーを押して、動作の位置を点灯させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ３	▲▼キーでパターン３を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０７：－－ （０７：００）	▷キーを押し、▲▼キーで０７を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０７：１０	▷キーを押し、▲▼キーで１０を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	■ 入	▷キーを押し、▲▼キーで入を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０７：１０	登録キーを押します。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ３	パターン３が点滅します。
□ □ □ ■ 時計　動作	１２：１０	▷キーを押し、▲▼キーで１２を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１２：３０	▷キーを押し、▲▼キーで３０を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	■ 切	▷キーを押し、▲▼キーで切を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１２：３０	登録キーを押します。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ３	パターン３が点滅します。
□ □ □ ■ 時計　動作	１３：３０	▷キーを押し、▲▼キーで１３を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１３：００	▷キーを押し、▲▼キーで００を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	■ 入	▷キーを押し、▲▼キーで入を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１３：００	登録キーを押します。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ３	パターン３が点滅します。

□ □ □ ■ 時計　動作	１７：００	▷キーを押し、▲▼キーで１７を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１７：３０	▷キーを押し、▲▼キーで３０を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	■ 切	▷キーを押し、▲▼キーで切を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１７：３０	登録キーを押します。
※ここではＯＮ／ＯＦＦを２セット設定した例について挙げていますが、パターン１～８については、１つのパターンにつき最大３０セットまで設定が可能です。 ※３１セット目を登録しようとすると全表示が点滅し、それ以上設定できません。		
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

b）確認方法

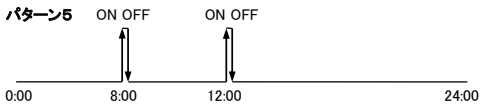
項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ □ ■ 時計　動作	－－：－－ （００：００）	項目キーを押して、動作の位置を点灯させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン １（１～９）	▲▼でパターン１（１～９）を点滅させます。表示キーを押すごとにそのパターンのプログラムを順次表示します。
※他のパターン番号のプログラムも同様に確認します。		
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	確認が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

◎パターン０は１日中非動作用プログラムのため表示しません。
◎パターンはプログラム時刻の早い順に自動的に並び換えますので、設定確認の際には開始時刻の早い順に表示します。
◎最後のキー操作から４～５分後、自動的に現在時刻の表示に戻ります。
*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

２）パルス（２秒）の設定と確認

ａ）設定方法

例　パターン5に8時00分⎍(パルス2秒)ON、12時00分⎍(パルス2秒)ONを設定する場合



項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ □ ■ 時計　動作	－－：－－ （００：００）	項目キーを押して、動作の位置を点灯させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ５	▲▼キーでパターン５を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：－－ （０８：００）	▷キーを押し、▲▼キーで８を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：００	▷キーを押し、▲▼キーで００を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	出力 ⎍	▷キーを押し、▲▼キーで⎍を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：００	登録キーを押します。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ５	▲▼キーでパターン５を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１２：００	▷キーを押し、▲▼キーで１２を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１２：００	▷キーを押し、▲▼キーで００を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	出力 ⎍	▷キーを押し、▲▼キーで⎍を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１２：００	登録キーを押します。
※６１セット目を登録しようとすると全表示が点滅し、それ以上設定できません。		
□ □ □ □ 時計　動作	１９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

ｂ）確認方法

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ □ ■ 時計　動作	－－：－－ （００：００）	項目キーを押して、動作の位置を点灯させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ５（１～９）	▲▼でパターン５（１～９）を点滅させます。表示キーを押すごとにそのパターンのプログラムを順次表示します。
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	確認が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

◎最後のキー操作から４～５分後、自動的に現在時刻の表示に戻ります。

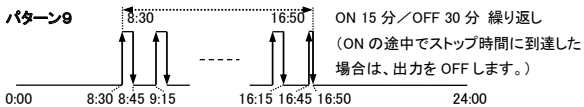
*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

３）サイクルの設定と確認

ａ）設定方法

例　8時30分（スタート）～16時50分（ストップ）の設定間で15分間（ON）、30分間（OFF）を繰り返す場合

（注）パターン９はサイクル専用です。本機能はパターン９でのみ設定が可能です。



（注）下記①の⎍マークはスタート、②の⎍マークはストップを表します。

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ □ ■ 時計　動作	－－：－－ （００：００）	項目キーを押して、動作の位置を点灯させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ９	▲▼キーでパターン９を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：－－ （０８：００）	▷キーを押し、▲▼キーで０８を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：３０	▷キーを押し、▲▼キーで３０を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	出力　① ⎍	▷キーを押し、▲▼キーで⎍（スタート）を点滅させ登録キーを押します。
□ □ □ ■ 時計　動作	１６：３０	▷キーを押し、▲▼キーで１６を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１６：５０	▷キーを押し、▲▼キーで５０を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	出力　② ⎍	▷キーを押し、▲▼キーで⎍（ストップ）を点滅させ登録キーを押します。

※次にＯＮ時間、ＯＦＦ時間設定をしてください。

□ □ □ ■ 時計　動作	００：５０	▷キーを押し、▲▼キーで００を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	００：１５	▷キーを押し、▲▼キーで１５を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	■ 入	▷キーを押し、▲▼キーで入を点滅させ登録キーを押します。
□ □ □ ■ 時計　動作	００：１５	▷キーを押し、▲▼キーで００を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	００：３０	▷キーを押し、▲▼キーで３０を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	■ 切	▷キーを押し、▲▼キーで切を点滅させ登録キーを押します。
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

ｂ）確認方法

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ □ ■ 時計　動作	－－：－－ （００：００）	項目キーを押して、動作の位置を点灯させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン ９	▲▼キーでパターン９を点滅させます。表示キーを押すごとに入、切、⎍（スタート）、⎍（ストップ）のプログラムが順次表示されます。
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	確認が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

◎最後の操作から４～５分後に時計表示となります。

*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

４－３ 週間プログラムの設定と確認

ａ）設定方法

例　１ＣＨ　：　日曜日は使用しない（パターン０）、月～土曜日はパターン１の場合
**　　２ＣＨ　：　土曜日と日曜日はパターン３、それ以外は使用しない（パターン０）場合**

（注）２ＣＨの設定については、ＳＳＣ－７３７２のみの機能になります。
　　また、接続しない（使用しない）ＣＨについては、設定の必要はありません。

（注）パターン０は前日の最後のＯＮ／ＯＦＦ状態を１日中保持するパターンです（ユーザーでの設定変更はできません）。週間プログラムとして使用しない場合はパターン０を選択してください。

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作	
□ □ ■ □ 時計　週間		項目キーを押して、週間の位置を点灯させます。	
□ □ ■ □ 時計　週間	■ １ｃｈ	▲▼キーで１ＣＨを選択します。（ＳＳＣ－７３７１は、チャンネルの選択ができません。）	
□ □ ■ □ 時計　週間	日 ■	▷キーを押すと１ＣＨが点灯し、日曜日が点滅します。	
□ □ ■ □ 時計　週間	パターン ０	▷キーを押し、▲▼キーでパターン０を点滅させ登録キーを押します。	
□ □ ■ □ 時計　週間	月 ■	▷キーを押し、▲▼キーで月曜日を点滅させます。	
□ □ ■ □ 時計　週間	パターン １	▷キーを押し、▲▼キーでパターン１を点滅させ、登録キーを押します。	
・▷キーを押し、▲▼キーで火曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。 ・▷キーを押し、▲▼キーで水曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。 ・▷キーを押し、▲▼キーで木曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。 ・▷キーを押し、▲▼キーで金曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。 ・▷キーを押し、▲▼キーで土曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。			
□ □ ■ □ 時計　週間	■ ２ｃｈ	▲▼キーで２ＣＨを選択します。	ＳＳＣ－７３７２のみ
□ □ ■ □ 時計　週間	日 ■	▷キーを押して２ＣＨを点灯させ、▲▼キーで日曜日を点滅させます。	
□ □ ■ □ 時計　週間	パターン ３	▷キーを押し、▲▼キーでパターン３を点滅させ登録キーを押します。	
□ □ ■ □ 時計　週間	土 ■	▷キーを押し、▲▼キーで土曜日を点滅させます。	
□ □ ■ □ 時計　週間	パターン ３	▷キーを押し、▲▼キーでパターン３を点滅させ登録キーを押します。	
□ □ ■ □ 時計　週間	月 ■	▷キーを押し、▲▼キーで月曜日を点滅させます。	
□ □ ■ □ 時計　週間	パターン ０	▷キーを押し、▲▼キーでパターン０を点滅させ、登録キーを押します。	
・▷キーを押し、▲▼キーで火曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。 ・▷キーを押し、▲▼キーで水曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。 ・▷キーを押し、▲▼キーで木曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。 ・▷キーを押し、▲▼キーで金曜日を点滅させ、▷キーを押し、登録キーを押します。			
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。	

例　水曜日だけパターン５に変更したい場合（ＳＳＣ－７３７１の場合）、または、
**　　１ＣＨの水曜日だけパターン５に変更したい場合（ＳＳＣ－７３７２の場合）**

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ ■ □ 時計　週間		項目キーを押して、週間の位置を点灯させます。
□ □ ■ □ 時計　週間	■　１ｃｈ	▲▼キーで１ＣＨを選択します。（ＳＳＣ－７３７１は、チャンネルの選択ができません。）
□ □ ■ □ 時計　週間	水 ■	▷キーを押して１ＣＨを点灯させ、▲▼キーで水曜日を点滅させます。
□ □ ■ □ 時計　週間	パターン ５	▷キーを押し、▲▼キーでパターン５を点滅させ登録キーを押します。
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

ｂ）確認方法

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ ■ □ 時計　週間		項目キーを押して、週間の位置を点灯させます。
□ □ ■ □ 時計　週間	パターン １（０～９）	ＳＳＣ－７３７１： 表示キーを押すごとに日、月、・・・土と移動し、パターンと同時に表示します。
		ＳＳＣ－７３７２： 表示キーを押すごとに１ＣＨの日、月、・・・土と移動し、続いて２ＣＨの日、月、・・・土と移動して、パターンと同時に表示します。
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	確認が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

◎最後のキー操作から４～５分後、自動的に現在時刻の表示に戻ります。
*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

４－４ 年間プログラムの設定と確認

ａ）設定方法

例　１ＣＨ　：　８月１０日はパターン１を使用する場合
**　　２ＣＨ　：　１２月２４日はパターン３を使用する場合**

（注）２ＣＨの設定については、ＳＳＣ－７３７２のみの機能になります。
　　また、２ＣＨを使用しない場合は、設定する必要はありません。

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ ■ □ □ 時計 年間	－－．－－ （０１．０１）	項目キーを押して、年間の位置を点灯させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	■　１ｃｈ	▲▼キーで１ＣＨを選択します。（ＳＳＣ－７３７１は、チャンネルの選択ができません。）
□ ■ □ □ 時計 年間	０８．－－ （０８．０１）	▷キーを押し、▲▼キーで０８を点滅させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	０８．１０	▷キーを押し、▲▼キーで１０を点滅させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	パターン ０	▷キーを押し、パターンを点滅させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	パターン １	▲▼キーで１を点滅させ、登録キーを押します。
□ ■ □ □ 時計 年間	■　２ｃｈ	▲▼キーで２ＣＨを選択します。
□ ■ □ □ 時計 年間	１２．１０	▷キーを押し、▲▼キーで１２を点滅させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	１２．２４	▷キーを押し、▲▼キーで２４を点滅させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	パターン １	▷キーを押し、パターンを点滅させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	パターン ３	▲▼キーで３を点滅させ、登録キーを押します。
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

ＳＳＣ－７３７２のみ

◎年間プログラムで設定した内容は、週間プログラムのものよりも優先されます。
◎年間プログラムで設定した内容は、期間プログラムで設定した内容に上書きされます。
◎週間プログラムを使用せず、年間プログラムのみで動かす場合は、週間プログラムの日曜日～土曜日をパターン０に設定します（週間プログラム無効）。
*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

ｂ）確認方法

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ ■ □ □ 時計 年間	－－．－－ （０１．０１）	項目キーを押して、年間の位置を点灯させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	■　１ｃｈ	▲▼キーで１ＣＨを選択します。（ＳＳＣ－７３７１は、チャンネルの選択ができません。）
□ ■ □ □ 時計 年間	パターン （０～９）	表示キーを押すごとに月日の早い順にＣＨとパターンが表示されます。
□ ■ □ □ 時計 年間	－－．－－ （０１．０１）	項目キーを押して、年間の位置を点灯させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	■　２ｃｈ	▲▼キーで２ＣＨを選択します。
□ ■ □ □ 時計 年間	パターン （０～９）	表示キーを押すごとに月日の早い順にＣＨとパターンが表示されます。
□ □ □ □ 時計　　動作	０９：１０	確認が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

「ＳＳＣ－７３７２のみ」

◎表示するのは年間プログラムを設定した月日のみになります。
◎最後のキー操作から４～５分後、自動的に現在時刻の表示に戻ります。
*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

４－５ 期間プログラムの設定と消去

ａ）設定方法

例　１ＣＨ　：　８月１日～９月１５日はパターン１を使用する場合
**　　２ＣＨ　：　１２月２９日～１月８日はパターン３を使用する場合**

（注）２ＣＨの設定については、ＳＳＣ－７３７２のみの機能になります。
　　また、２ＣＨを使用しない場合は、設定する必要はありません。

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	－－．－－	項目キーを押して、期間の位置を点灯させます。
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	■　１ｃｈ	▲▼キーで１ＣＨを選択します。（ＳＳＣ－７３７１は、チャンネルの選択ができません。）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０８：－－	▷キーを押し、▲▼キーで０８を点滅させます。 （開始月日設定時は、：の上側が点灯します）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０８・０１	▷キーを押し、▲▼キーで０１を点滅させます。 （開始月日設定時は、：の上側が点灯します）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０９．－－	▷キーを押し、▲▼キーで０９を点滅させます。 （終了月日設定時は、：の下側が点灯します）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０９．１５	▷キーを押し、▲▼キーで１５を点滅させます。 （終了月日設定時は、：の下側が点灯します）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	パターン ０	▷キーを押し、パターンを点滅させます。
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	パターン １	▲▼キーで１を点滅させ、登録キーを押します。
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	■　２ｃｈ	▲▼キーで２ＣＨを選択します。
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	１２・－－	▷キーを押し、▲▼キーで１２を点滅させます。 （開始月日設定時は、：の上側が点灯します）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	１２・２９	▷キーを押し、▲▼キーで２９を点滅させます。 （開始月日設定時は、：の上側が点灯します）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０１．－－	▷キーを押し、▲▼キーで０１を点滅させます。 （終了月日設定時は、：の下側が点灯します）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０１．０８	▷キーを押し、▲▼キーで０８を点滅させます。 （終了月日設定時は、：の下側が点灯します）
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	パターン １	▷キーを押し、パターンを点滅させます。
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	パターン ３	▲▼キーで３を点滅させ、登録キーを押します。
□ □ □ □ 時計　　動作	０９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

（ＳＳＣ－７３７２のみ）

◎期間プログラムで設定した内容は、週間プログラムのものよりも優先されます。
◎期間プログラムで設定した内容は、年間プログラムで設定した内容に上書きされます。
◎週間プログラムを使用せず、期間プログラムのみで動かす場合は、週間プログラムの日曜日～土曜日をパターン０に設定します（週間プログラム無効）。
◎期間プログラムで設定した内容は、年間プログラムで各月日の設定内容を確認してください。確認方法は、年間プログラムの確認方法を参考にしてください。

ｂ）消去方法

例　１ＣＨ　：　８月１日～９月１５日を消去する場合

**　　２ＣＨ　：　１２月２９日～１月８日を消去する場合**

（注）２ＣＨの設定については、ＳＳＣ－７３７２のみの機能になります。

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	－－．－－	項目キーを押して、期間の位置を点灯させます。	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	■ １ｃｈ	▲▼キーで１ＣＨを選択します。（ＳＳＣ－７３７１は、チャンネルの選択ができません。）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０８･－－	▷キーを押し、▲▼キーで０８を点滅させます。 （開始月日設定時は、: の上側が点灯します）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０８･０１	▷キーを押し、▲▼キーで０１を点滅させます。 （開始月日設定時は、: の上側が点灯します）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０９．－－	▷キーを押し、▲▼キーで０９を点滅させます。 （終了月日設定時は、: の下側が点灯します）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０９．１５	▷キーを押し、▲▼キーで１５を点滅させます。 （終了月日設定時は、: の下側が点灯します）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	パターン ０	▷キーを押し、パターンを点滅させます。	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	パターン Ｅ	▲▼キーでＥを点滅させ、登録キーを押します。	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	■ ２ｃｈ	▲▼キーで２ＣＨを選択します。	ＳＳＣ－７３７２のみ
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	１２･－－	▷キーを押し、▲▼キーで１２を点滅させます。 （開始月日設定時は、: の上側が点灯します）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	１２･２９	▷キーを押し、▲▼キーで２９を点滅させます。 （開始月日設定時は、: の上側が点灯します）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０１．－－	▷キーを押し、▲▼キーで０１を点滅させます。 （終了月日設定時は、: の下側が点灯します）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	０１．０８	▷キーを押し、▲▼キーで０８を点滅させます。 （終了月日設定時は、: の下側が点灯します）	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	パターン １	▷キーを押し、パターンを点滅させます。	
□ ■ ■ □ 時計 年間 週間	パターン Ｅ	▲▼キーでＥを点滅させ、登録キーを押します。	
□ □ □ □ 時計　　動作	０９：１０	登録が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。	

◎最後のキー操作から４～５分後、自動的に現在時刻の表示に戻ります。

*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

４－６ 年間プログラム設定における年末更新の方法

ａ）年間プログラムの設定について

年間プログラムの内容（○月×日　パターン△）で祝日等を設定してある場合は、翌年の祝日に合わせて、１年に１回、設定内容の見直しが必要になります。設定されている内容を確認し、必要に応じて再設定を行ってください。

以下例としまして、１２月３１日に来年１年分の見直しをする変更方法を示しますので、実際のご使用状況に合わせて設定を行ってください。

ｂ）変更方法

（１）今年１年分の設定をＡ欄に読み出します。(「年間プログラムの確認」参照)

（２）来年１年分の予定をＢ欄に書き出します。

	Ａ欄：今年の設定		Ｂ欄：来年の設定		違い	操作
	月日	パターン	月日	パターン		
元日	１／１	０	１／１	０	今年と来年、変わらない	－
正月休み	１／２	０	１／２	０	今年と来年、変わらない	－
正月休み	１／３	１			今年と来年、パターンが違う	削除
			１／３	２		追加
成人の日	－	－	１／１２	１	今年は設定日でないが来年は設定日	追加
	１／１３	２	－	－	今年はパターン２だが来年は不要	削除
	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
大晦日	１２／３１	０	１２／３１	０	今年と来年、変わらない	－

（３）今年と来年で変わらない日（１／１と１／２）は設定の必要がありません。→　変更不要

（４）今年と来年でパターンが違う日（１／３など）や、今年は設定したが来年は設定不要な日（１／１３など）は、下記に従って設定の**削除**をします。
以下、同様に年末まで削除します（順不同でも可）。

＜月日を削除する操作方法＞

現状の設定内容で変更が必要な月日のプログラム一部消去を行います。
①「項目」キーを押して『年間』の位置を点灯させます。
②「▲」キーまたは「▼」キーで、削除する月日が設定されているチャンネルを選択してください。　（製品の型番が、ＳＳＣ－７３７２Ｓ／ＳＳＣ－７３７２Ｐの場合に選択する必要があります。）
③「表示」キーを押し、削除したい月日を表示させます。（１／３なら０１．０３）
④「▷」キーを押すと、『パターン』の位置に『０～９』と『Ｅ』が交互に点滅します。（上記例１／３なら『１』と『Ｅ』）
⑤「登録」キーを押すと表示していた月日が消去され、次に設定されている月日が表示されます。(上記例なら０１．１３）但し、他に月日が設定されていなければ、何も表示されません。

⑥上記②～⑤（②でチャンネルの選択、③で月日の選択、④～⑤で削除）を繰り返し、年末までの不要な月日の削除が終わったら「項目」キーを何回か押して、『項目』の位置を消して現在の時刻を表示させます。（もし途中で操作を間違えてしまった場合は、「項目」キーを何回か押して、再度①から操作やり直してください。最終的に不要な月日が消えていればＯＫです。）

（５）今年と来年でパターンが違う日（１／３など）や、今年は設定していないが来年は設定する日（１／１２など）は、下記に従って設定の**追加**をします。以下、同様に年末まで追加します（順不同でも可）。

＜月日を追加する操作方法＞

年間プログラムの追加を行います。
①「項目」キーを押して『年間』の位置を点灯させます（表示が０１．０１　０または －－．－－　－となっています）。
②「▲」キーまたは「▼」キーで、月日を設定するチャンネルを選択してください。
（製品の型番が、ＳＳＣ－７３７２Ｓ／ＳＳＣ－７３７２Ｐの場合に選択する必要があります。）
③「▷」キーを押し、『月』を点滅させ、「▲」キーまたは「▼」キーで設定させたい月を表示させます（上記例１／３なら『０１』）。次に「▷」キーを押し、『日』を点滅させ、同様に日を表示します（上記例１／３なら『０３』）。更に、「▷」キーを押し、『パターン』を点滅させ、同様に使用するパターンを表示します（上記例１／３なら『２』）。最後に、「登録」キーを押して設定を確定させます。

＜注＞・「登録」キーを押さなければ設定は確定されません。
・もし途中で操作を間違えてしまった場合は、「項目」キーを何回か押して、①からやり直してください。
・もし間違えた内容で登録してしまった場合は、再度１９ページの「月日を削除する操作方法」を参照して、間違えた設定を削除してから再度設定してください。
・各パターンの設定方法については、「動作の設定」を参照してください。

④続けて設定する場合は②～③の操作を繰り返してください。設定が完了した場合は「項目」キーを何回か押して、『項目』の位置を消して現在の時刻を表示させます。

（６）「年間プログラムの確認」に従って、登録に誤りが無いか確認します。

＜設定内容を確認する操作方法＞

①「項目」キーを押して『年間』の位置を点灯させます。
②「▲」キーまたは「▼」キーで、確認するチャンネルを選択してください。
（製品の型番が、ＳＳＣ－７３７２Ｓ／ＳＳＣ－７３７２Ｐの場合に選択する必要があります。）
③「表示」キーを押して今年の不要な設定が削除されたかどうか、また、来年の設定が正しく登録されているかどうかを確認してください。間違いがあったら、再度設定の削除または追加を行ってください。
④「項目」キーを押して、現在の時刻を表示させて完了です。

４－７　一部消去

ａ）パターンの消去

例　パターン１の８：００を消去する場合

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ □ □ ■ 時計　動作	－－：－－ （００：００）	項目キーを押して、動作の位置を点灯させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン １	▲▼キーでパターン１を点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	０８：００	表示キーを押し、消去する時刻のプログラムを表示させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	パターン Ｅ	▷キーを押し、パターン番号とＥを交互に点滅させます。
□ □ □ ■ 時計　動作	１７：００	登録キー押すと表示していたプログラムが消去され、次のプログラム時刻が表示されます。
◎パターン１～９は▲▼キーで消去するパターン表示を点滅させ同様に設定します。 次のプログラムを消去するときは、操作を繰り返し行います。		
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	消去が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

ｂ）年間プログラムの消去

例　８月１０日の設定内容を消去する場合（ＳＳＣ－７３７１の場合）、または、
１ＣＨの８月１０日の設定内容を消去する場合（ＳＳＣ－７３７２の場合）

項目の位置	表　示	キ　ー　操　作
□ ■ □ □ 時計 年間	－－．－－ （０１．０１）	項目キーを押して、年間の位置を点灯させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	■　１ｃｈ	▲▼キーで１ＣＨを選択します。（ＳＳＣ－７３７１は、チャンネルの選択ができません。）
□ ■ □ □ 時計 年間	０８．１０	表示キーを押し、消去する月日を表示させます。
□ ■ □ □ 時計 年間	パターン Ｅ	▷キーを押し、パターン番号とＥを交互に点滅させます。
□ ■ □ □ 時計 年間		登録キー押すと表示していた月日が消去され次の月日が表示されます。（それ以上月日の設定が無ければ何も表示されません。）
◎ＳＳＣ－７３７２は▲▼キーで２ＣＨ表示も点滅させ同様に確認します。 次の月日を消去するときは、操作を繰り返し行います。		
□ □ □ □ 時計　動作	０９：１０	消去が終わったら、項目の位置が消灯(*1)する所まで項目キーを押して、現在時刻の表示にします。

*1 年間プログラムで設定されている日に操作した場合には、年間の位置が点滅します。

４－８　タイマーリセット

・電源が入った状態で、登録キーを押しながらＲキーをペン先などで１秒間押します。次に登録キーを離します。タイマーリセットを行うと、動作パターンは無登録、週間プログラムの各曜日および年間プログラムの全月日はパターン０、現在の時刻２００７年１月１日０時０分が書込まれます。また、万一ノイズ等によりコンピューターが暴走した場合には、タイマーリセットを行ってください。

４－９　仕様

型番	SSC-7371S、SSC-7371P (1 回路) S:壁掛型、P:パネル埋込型	SSC-7372S、SSC-7372P (2 回路) S:壁掛型、P:パネル埋込型
電源電圧	AC100V - 200V 共用	
周波数	50/60Hz 共用	
許容電圧変動範囲	AC85V ～ AC230V	
停電補償	停電期間累積 5 年間(リチウム電池使用)	
使用周囲温度	－10℃ ～ 50℃	
使用周囲湿度	35% ～ 85%RH	
接点容量	抵抗負荷　AC250V　10A	抵抗負荷　AC250V　10A（合計）
出力	リレー接点　1a	リレー接点　1a × 2 回路
設定回数	各パターン毎に、30 動作(ON/OFF)又は 60 パルス	
動作パターン	0～9 のパターン、0 は設定不可、9 はサイクルのみ使用	
最小設定時間	1 分又は 2 秒	
時間精度	± 15 秒／月 (25℃)	
消費電力	5VA	
重量	(S) 210g,　(P) 170g	
外形寸法	H75×W75×D62 (P 型)、H126.7×W75×D71.5 (S 型) (mm)	

よくある質問

Q．２４時間タイマーとしてＯＮ／ＯＦＦ時間を設定したい（日付も曜日も不要、とにかく毎日同じ動作で使いたい）場合の設定方法を教えてください。
A．曜日について全て同じパターン番号を選択してください。また、不要であれば年間プログラムの設定内容も全て消去してください。

Q．年末が近いので、来年の年間プログラムの設定をしたい
A．１９ページの「年間プログラム設定における年末更新の方法」を参照しながら設定してください。またホームページでも更新方法を説明していますので参照してください。

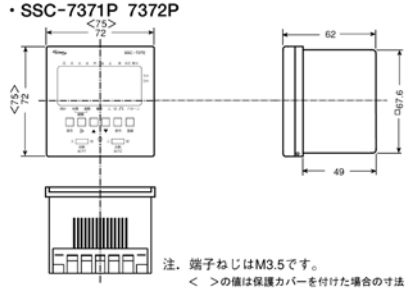
Q．週間プログラムで曜日にパターンを設定したが、その通りに動かない。
A．その日について年間プログラムが設定されていませんか。年間プログラムの方が優先して動きますので、不要であればその日の年間プログラムを消去してください。

Q．その他、動きがおかしい場合や設定内容が分からなくなった場合の対策
A．操作方法のページに書かれている確認方法の項を参照して、設定した内容が間違っていないか再度確認してみてください。また、２回路以上出力回路を持った機種については、設定した内容と出力チャンネルが間違っていないかも確認してみてください。

本製品の特長は、取扱説明書「概要の説明」のページにまとめてあります。是非一度目を通してください。

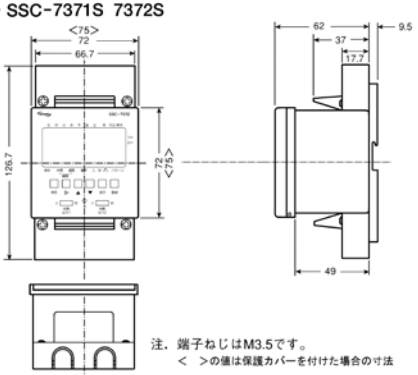
外形寸法図

・SSC-7371P 7372P



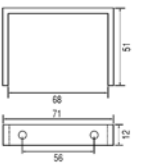
注．端子ねじはM3.5です。
＜　＞の値は保護カバーを付けた場合の寸法

・SSC-7371S 7372S

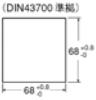


注．端子ねじはM3.5です。
＜　＞の値は保護カバーを付けた場合の寸法

取付金具

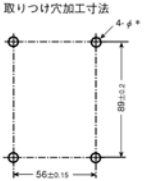


パネルカットサイズ
（DIN43700 準拠）



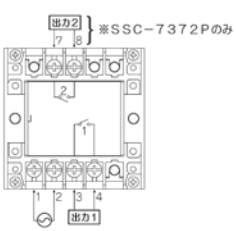
注．取りつけパネルの板厚は
1～5mm が適当です。

取りつけ穴加工寸法

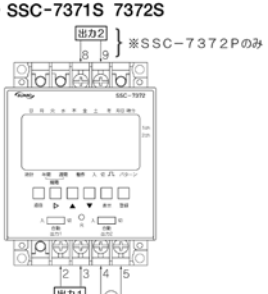


入力・出力端子

・SSC-7371P 7372P



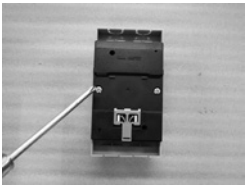
・SSC-7371S 7372S

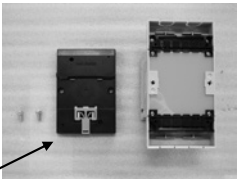


取付け方法（ＳＳＣ－７３７１Ｓ／ＳＳＣ－７３７２Ｓ）

・付属の木ネジ（３．１×２０：４本）で取付ける場合

①裏面のＤＩＮ取付け用ベースを外します。（この取付けベースは使用しません。）

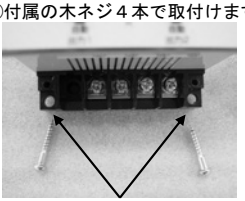




ＤＩＮ取付け用ベース　　ドライバーで２ヶ所のビスを外します

②上下の端子台カバーを外します。

③付属の木ネジ４本で取付けます。



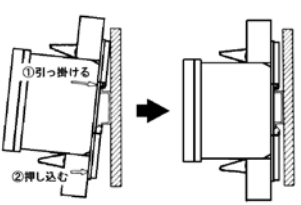
上下２ヶ所ずつ

④取付けが終わり配線しましたら、端子台カバーは元通りに取付けてご使用ください。

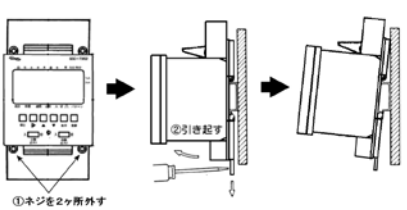
・ＤＩＮレールで取付ける場合

３５mm幅ＤＩＮレールをご使用ください。（ＩＤＥＣ　ＢＡＡ１０００等）

①取付け方法



②取外し方法



◆ 注意事項

本製品を使用の際は、次のような場所は避けて使用してください。

- 周囲温度が－１０℃以下、＋５０℃以上の場所
- 湿度が８５％以上の場所及び３５％以下の場所
- 温度変化が急激で結露する場所
- 可燃性ガスや腐食性ガスのある場所
- 異常なノイズやサージ電圧のある場所
- 振動や衝撃の大きな場所
- 直射日光や雨の当たる場所
- 金属やプラスチックに有害な有機溶剤や塩分の多い場所
- ホコリの多い場所

※本取扱説明書記載の仕様等につきましては改良のため、予告なく変更することがありますので御了承ください。

SUNAO スナオ電気株式会社
本社・工場 静岡県浜松市東区下石田町1495 TEL〈053〉421-2281（代表）
FAX〈053〉422-0988

2015.01.20